学校番号	3017

令和８年度　チャレンジ科

教科	チャレンジ	科目	チャレンジB	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学校で開講されている授業や実験実習以外にも、社会必要とされるスキルや経験はたくさんあります。2 年生においては進路決定までの大切なステップ期間です。卒業後の自分の姿をより具体的にしながら、必要なスキルや新たな経験を積み上げていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
教員が設定したものづくりやフィールドワーク等のうち、生徒がキャリアアップに必要であると考える分野を自ら選択し、その分野に関する新たな知識や技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
新たに経験した事柄について自身の進路と結びつけ、自己の興味・関心および将来の可能性について考え、表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的にワークショップ等に参加し、新たな分野について学習しようとする意欲や、興味・関心を深めようとする姿勢を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自身の進路をより具体化するために必要であると考えたテーマについて、成果物を完成させることやパフォーマンスの向上、知識の深化が効果的にみられる。	成果物やパフォーマンスが完成に向かう過程において、独自の表現にこだわりを持つことや、得られた知識等が自らの進路により具体的に結びつけられるような考え方を持つことができる。	それぞれのテーマにおいて興味・関心を持ち、主体的に成果を発揮しようとする姿勢がみられる。また、目標に向かい試行錯誤を繰り返し、粘り強く取り組む姿勢がみられる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
集中講座	一般教養テーマ	社会人基礎力に関する講座 就職活動に関する講座 進学受験に関する講座 SPI に準ずる講座 自己分析と自己表現講座 文章構成の理論講座　など	a:進路実現に必要な発展的な教養について身につけ、定着することできている。 b:身につけた教養について、今後の進路選択において具体的に活用していこうとする考えを表現できる。 c:自らの将来を見据え、必要な教養を積極的に身につけようとする姿勢がみられる。	学習ワーク等	レポート等の自己表現課題	取り組み姿勢の観察
	ワークショップテーマ	系専科に関するものづくり 系専科の分野外のものづくり 科学実験 生涯スポーツ　など	a:成果物の完成度やパフォーマンスにおいて向上した過程がみられる。 b:成果に対して、うまく取り組めた部分や努力していきたい部分など、自らの過程を振り返ることができている。 c:よりよい成果を得られるよう探究し、試行錯誤を繰り返しながら取り組む姿勢がみられる。	成果物等の完成	レポート等の自己表現課題	取り組み姿勢の観察
	フィールドワークテーマ	歴史探訪 地域調査研究 地学･測量実践 芸術探究　など	a:選択したテーマに関する知識をより深め、活動のために必要な技能や道具の使い方が身についている。 b:活動を振り返り、自身のキャリアにどのように反映していくか考えを表現することができる。 c:選択したテーマにつて興味･関心を持ち、積極的に知識や技能を身につけようとする姿勢がみられる。	テーマに関する教養の深化	レポート等の自己表現課題	取り組み姿勢の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度